



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

弾ける水とあふれる笑顔



(写真：埴生保育所の子どもたち)



補正予算の概要	2	委員会報告	11~12
審議経過	2	行政視察報告	12
永年勤続議員表彰	2	会務報告	13~14
人事案件	2	議長交際費	14
審議議案・議員別賛否状況	3	次回議会日程	14
代表・一般質問	4~11	編集後記	14

6月定例会

6月10日から23日までの14日間を会期として6月定例会を開催しました。
6月定例会では、令和4年度小矢部市一般会計補正予算、条例の一部改正、小矢部市公平委員会委員の選任同意についてなど議案10件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。
その他、法令等に基づく報告を3件受けたほか、請願1件を審議しました。

◎ 6月補正予算の概要

議案第25号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第1号）

補正額 3億1,084.8万円 累計予算額 135億7,984.8万円

《主な事業》

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給 2,844.3万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 1,953.2万円
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の支給
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 8,165万円
ワクチン接種の4回目の実施に向けて、接種体制の確保等に係る経費
- 生産調整推進対策事業費 2,488.1万円
原油価格高騰の影響を受けている市内農業者に対する支援金の支給
- 商工業振興対策費 4,350万円
小矢部市商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業に対する助成

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

6月定例会の 審議経過

10日	本会議（提案理由説明） 全員協議会
13日	議案調査日
14日	議案調査日
15日	議案調査日
16日	議会運営委員会
17日	本会議（代表・一般質問） 本会議（一般質問）
20日	地域活性化特別委員会 民生文教常任委員会
21日	公共施設再編特別委員会 総務産業建設常任委員会
22日	議案調査日
23日	議会運営委員会 委員長会議 全員協議会 本会議（質疑・討論・表決他）

永年勤続議員表彰

全国並びに北信越市議会議長会定期総会において、次の方々が議員表彰を受けられました。

◎議員在職三十五年以上表彰

砂田 喜昭 議員

◎議員在職十五年以上表彰

石田 義弘 議員



人事案件

◎小矢部市公平委員会委員の選任同意

高田 裕法 氏（水島）

6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主要内容)	議案番号	議案内容	議決結果	議員別賛否															
				林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山口秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭
補正予算	議案第 25 号	令和 4 年度小矢部市一般会計補正予算 (第 1 号) (補正予算の概要は 2 ページを参照ください。)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定	議案第 26 号	公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について ・ 国の選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ポスターの作成及び選挙運動用ビラの作成の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことに伴い、市の選挙においても同様の引上げを行うため、関係条例について所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 27 号	小矢部市商工業振興条例の一部改正について ・ 富山県企業立地助成金交付要綱の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 28 号	小矢部市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について ・ 国家公務員において非常勤職員の育児休業等の取得要件を緩和する等の制度改正が行われたことから、国の取扱いに準じて所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の改正	議案第 29 号	小矢部市税条例等の一部改正について ・ 地方税法及び地方税法施行規則の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 30 号	小矢部市地域再生法に基づく地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について ・ 地域再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 31 号	小矢部市水道事業給水条例の一部改正について ・ 富山県企業局及び受水団体 4 市との間で締結した新たな水道用水供給協定により、令和 4 年度から受水費が縮減されることに伴い、令和 4 年 7 月使用分から水道料金を 3 円引き下げる改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	議案第 32 号	財産の取得について ・ スクールバス 1 台の更新に伴う購入契約に係るもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決承認	承認第 6 号	小矢部市税条例の一部改正について (令和 4 年 3 月 31 日専決) ・ 地方税法の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行ったもの。(令和 4 年 4 月 1 日 施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人事	同意第 2 号	小矢部市公平委員会委員の選任同意について (人事案件の概要は 2 ページを参照ください。)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	請願第 1 号	「核兵器禁止条約の署名・批准を展望しつつ、日本政府に核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加を求める意見書」を採択されるよう求める請願 請願者 富山県被爆者協議会 会長 小島貴雄 他 (紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		

議長は表決に加わりません

6月定例会で報告された事項

報告	報告第 1 号	令和 3 年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告について
	報告第 2 号	令和 3 年度小矢部市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	報告第 3 号	令和 3 年度小矢部市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

◎市長選について
◎地域の活性化について



会派「誠流」
沼田 信良 議員



▼動画配信中

質問 桜井市長は、この15年間に、人口減少対策として定住促進事業などに県内においていち早く取り組まれ、アウトレットモール誘致や、新図書館や市民交流プラザの整備など多くの事業を実施された。桜井市長は5選に向けて出馬されるのか。出馬されるのであれば、その意気込みを問う。

市長 私は、平成18年12月から市政を担当させていただき、小矢部市の限らない発展と市民生活の質の向上に、誠心誠意取り組んできた。長引くコロナ禍の中、困難な課題も山積しているが、市民の皆様が、これからもう「住んでみたい・住み続けたい・住んで良かった」と思っているだけで「小矢部市」の実現に向けて、しっかりと取り組んでいくことが大切であると考えている。これまで進めてきた大型事業の施策の成果が花開くことを責任を持って確認し、令和6年度から始まる第7次総合計画後期実施計画をしっかりと策定していきたいと考えている。様々な課題を市長として遂行できる

のかを自分自身に問いかけて熟慮した結果、小矢部市の限りない発展と市民の皆様方の幸せのために全身全霊をささげ、全力で市政を担わせていただきたいという考えに至り、次期市長選への出馬を決意した次第である。もちろん多選に対する批判があることも重々承知しているが、今一度初心に帰り、これまで以上に謙虚に、そして市民生活の質の向上のために、身を粉にして頑張ることをお誓い申し上げる次第である。

代表質問

質問 新型コロナウイルス感染症により2年間で中止となっていた小矢部三大祭も今年はそれぞれに感染症対策をしっかりと講じた上で開催された。祭りという地域の伝統文化をうまく活用して、地域の活性化を図る施策はないものか。

市長 本市には小矢部三大祭をはじめ地域の歴史に深く根づいた伝統文化が数多くある。地域の誇りである祭りの開催を通して地域が元氣になれば、その魅力に引き寄せられて、交流人口が増え、定住に結びつき、ひ

いては小矢部市全体の活性化が図られると考える。しかしながら、近年は少子高齢化による担い手不足など、伝統文化の保存・伝承が大きな課題となっており、本市としては、小矢部三大祭保存・伝承委員会において、課題解決に向けた協議・検討をしていきたいと考えている。その他の伝統文化についても、各保存団体などと密に連携し、情報共有、意見交換などを通して保存・伝承に向けた取組を進めるとともに、可能な限りの支援に努めていきたい。あわせて、祭りを活用した地域活性化策も、今後、検討をしていきたい。

質問 三大祭で獅子舞だけが市の文化財になっていない。小矢部市の三大祭というならば、獅子舞も何らかの形で市の文化財に指定するべきと考えるが、市の見解を問う。

市長 獅子舞は、現在、市内の84か所で、それぞれ伝承・実施されている。市指定文化財に指定を行うためには、どの地域の獅子舞が重要なものであり、市民の生活の推移の理解のため欠

くこのできないものであるかについて明らかにする必要があり、歴史的に評価をするため、各獅子舞の来歴を示す史料等が残されているかが、一つの問題であると考えられている。また、指定文化財とした場合、指定した際の状態をできる限り維持していくことが求められ、保持団体が勝手にその内容を変えることとある程度制限されるという問題もある。このことを各獅子舞の保持団体が理解された上で、資料等の調査に積極的に協力いただけるのであれば、指定の前段階の調査に着手することは可能と考えられるが、指定の可否については、市文化財保護審査委員会での評価を受ける必要がある。



小矢部三大祭

- ◎VUCA (ブーカ) 時代の政策立案・政策評価について
- ◎VUCA (ブーカ) 時代に求められる人材育成について
- ◎本市の情報収集・情報発信について
- ◎市内経済の活性化について

林 登 議員
会派「市民報徳会」



質問 本市においても、限られた予算で質の高い行政サービスを提供するためにプログラム評価を導入すべきだと考えるが、市長の見解を問う。

市長 プログラム評価とロジックモデルについては、どの評価方法を採用するかは、引き続き研究をしていく必要がある。

質問 政策効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等のデータを活用したEBPM（証拠に基づく政策立案）の考え方を取り入れ、政策立案やその検証に活用すべきだと考えるが、市長の見解を問う。

市長 市民の多様なニーズをくみ取りつつ、客観的なデータも活用して効果的・効率的な政策立案を行う必要があるので、引き続き研究していく必要があると考える。

質問 EBPMを推進するにもデータがなければ話にならない。データの収集・整理・分析・共有を真剣に取り組むべきではないか。

市長 現在策定中の「(仮称)小矢部市デジタル化推進計画」

を官民データ活用推進基本法に基づく市町村官民データ活用推進計画に位置づけ、計画の中でデータの収集・整理・分析・共有方法をはじめ、活用方法等についても示したい。

質問 桜井市長は、どのように最新情報の収集を行っているのか。桜井市長もSNSのアカウントを開設されて、情報収集、情報発信を行ってはどうか。

市長 市民とのコミュニケーションを図るため、フェイスブックやインスタグラムは大変有効であると認識をしている。しかしながら、気軽に情報発信できるメリットがある反面、近年は、匿名の利用者からの誹謗中傷による、いわゆる炎上が全国的に問題になっている。私自身情報収集については、新聞やインターネットを中心としている。

また、情報発信については、従来から市ホームページや「桜井森夫の見て来て体験ブログ」に加えて、現在、LINEを利用している。

質問 全国を見ると、様々な市町村の首長が自身で発信している。

今の時代において、首長はそれぐらいするべきじゃないかと私は考えているが、桜井市長の所感を改めて問う。

市長 確かに県内の首長さんの中にもSNSで発信されている方も何人かおられるけれども、こればかりは人生いろいろ、市長もいろいろだろうと思うので、その辺はまた自分なりに考えて情報発信をしていきたい。

質問 桜井市長のブログを見ると、近年は発信が非常に少ない。どこが情報発信しているんだという話で、ぜひ毎日でも今日どういった公務があった等を発信されてはどうか。

市長 以前はほとんど毎日のように書いていたが、ご指摘のとおり、ちよつと怠けていると言われたら、そのとおりでろうと思う。なるべくその日あった出来事、自分が感じたことなどを情報発信していきたい。

質問 本市においてもビジネスサポートセンターを立ち上げ、市内での新規創業や既存のビジネスを支援していくべきではないか。

市長 今後、市商工会、市企業協会や金融機関などと意見交換を行う中で、その必要性について協議していきたい。

質問 今後20年、30年を見据えた長期的な視点での経済対策として何をしていくべきか、市長の考えを問う。

市長 まずは人口減少問題に取り組むことが重要であると考えている。その上で、第7次小矢部市総合計画の基本目標に掲げている「魅力あふれる産業と経済活力のみなざるまち」を目指し、各種施策を着実に展開していく、民間企業のDXの推進や創業支援策の強化に取り組むなど、我々行政もしっかりと世界・国の情勢を注視しながら、臨機応変に対応していくことが必要であると考えている。



VUCAとはVolatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取った複雑化した社会の不確定な状況を意味するビジネス用語です。

代表質問

- ◎市道の維持管理について
- ◎稲葉山・宮島峡県定公園整備について
- ◎アウトレットから市内への観光客誘致施策について
- ◎コロナ禍での避難所運営について
- ◎ウクライナ難民への支援と受け入れについて

質問 経年劣化により市道の白線が様々な所で消えかかっている。区画線の維持管理と安全対策について問う。

産業建設部長 区画線などの路面標示は、道路の安全性を確保するため欠かすことができない重要な役割を果たしており、経年劣化により視認性が低下している状態では安全確保を図ることが困難となるので、道路パトロールや市民の情報を参考に点検し、順次修繕を行っていききたい。

質問 稲葉山・宮島峡県定公園へ至る道路を拡幅し、周遊性を高め、より魅力ある県定公園にしてほしい。

産業建設部長 さらなる魅力向上のために周遊観光ルートの整備の必要性は十分認識しており、まずは田川地内から稲葉山へ上がる最初の急カーブ区間の対策工事に着手しているところであり、今後順次、整備していく。

質問 おやべ周遊クーポンの周知とアウトレットモールのレシートを活用した誘客事業ができないか。

産業建設部長 費用面や仕組みづくりに課題があるので、まずは現行のクーポン事業の周知や参加店舗の増加を図り、多くの人に利用していただける事業となるよう取り組んでいきたい。

質問 大規模災害時における避難所運営について問う。

総務部長 議員から紹介の助けあいジャパンが進めるトイレトレーラー、マンホールトイレ、デジタル技術を活用した並ばない避難所等の先進事例を参考に調査研究を行っていききたい。

質問 ウクライナ難民へ小矢部市としても支援を実施してほしい。

副市長 国や県などから情報収集し、実際に市としてどのようなことができるか引き続き調査していききたい。



稲葉山・宮島峡県定公園一の滝

- ◎公共交通の在り方と今後の対策について
- ◎クロスランド・タワーの魅力高め、さらなる発展の為に

質問 本市の高齢者の運転免許証返納件数の過去3年間の推移について問う。

民生部長 令和元年度は206件、令和2年度は123件、令和3年度は107件と減少傾向にある。

質問 市営バスの乗車率について問う。

民生部長 令和3年度における市営バス5路線の乗車率は、津沢線61人、正得線41人、宮島線23人、南谷線26人、蟹谷線34人である。

質問 乗車率が低い宮島線、南谷線の停留所の設置状況について問う。

民生部長 南谷線では可能な範囲で集落内や集落付近に停留所を設置しているが、宮島線においてはほとんど停留所を県道の沿線に設置している。新たな停留所の設置については、市営バスの再編検討作業の中で慎重に検討していきたい。

質問 ノックルあさひまちに習い、おやべ流のノックル導入について、前向きに取り組むべきではないか。

民生部長 今年度取り組んでいる先進地視察や先進事例の調査・研究、朝日町の事例も踏まえ、本市の地域公共交通が抱える様々な課題の解決に向けて、おやべ型の地域公共交通の在り方を検討していきたい。

クロスランドの遊具





竹松 豊一 議員

▼動画配信中



- ◎自治体DXについて
- ◎子どもたちの社会教育環境について
- ◎ふるさと納税自販機について
- ◎義仲・巴御前ゆかりの地について

質問 自治体DXへの職員
の意識改革と資質向上の研
修体制について見解を問う。

企画政策部長 全職員対象の研
修等も検討し、計画的に実
施できるように、情報推進リ
ーダーを中心に資質向上及
び技術力向上を図りたい。

質問 市民の利便性向上と
窓口業務効率化のため、住
民票等のコンビニ交付手
料を窓口より安くする取組
やキャッシュレス決済導入
への見解を問う。

企画政策部長 手数料収入の減
少が見込まれることから、
サマーレビュー等を通じて、
手数料全体の見直しの議論
の中で検討していきたい。

質問 令和のつやま型教育
推進事業への取組を問う。

教育長 基礎的読解力の育
成などをテーマに小中3校
で実践研究を行い、教員の
指導力向上を図り、学校教
育研究大会にて市内各校に
成果の普及を図っていく。

質問 部活動・スポ少にお
ける競技の存続、子供たち
の選択肢確保への早急な対
策についての見解を問う。



スポーツ少年団
活動の様子

教育委員会事務局長 児童生徒に
よる自身の特性の発見や運
動能力向上のため、多目的
の競技を選択して経験でき
るようなスポ少や部活動の
設定も検討していきたい。

質問 小中学校には月曜日
に振替休日があり、ノ一
デーも月曜日であることか
ら、新図書館の月曜定休日
の変更について見解を問う。

教育委員会事務局長 アンケート
を行い、検討していきたい。

質問 ふるさと納税自販機
についての見解を問う。

企画政策部長 ふるさと納税が
その場でできる共感納税で
あり、費用対効果もみて、
導入を検討していきたい。

質問 鎌倉殿の13人の義
仲・巴御前のぼり旗の設置
場所拡大への見解を問う。

産業建設部長 義仲・巴御前
の魅力を発信する絶好の機
会であるので、再検討を行
い、石動駅等にも設置し、
積極的に活用していきたい。

一般質問



出合 和仁 議員

▼動画配信中



- ◎用排水の止水時における緊急利用と連絡体制について
- ◎遊休農地の発生防止・解消と移住定住の促進について
- ◎駅南新商業施設について

質問 浅地地内の火災では
消火に足りる用水の水は確
保できていたのか。

総務部長 浅地地内の用水
は小矢部大堰から取水して
いるが、四ヶ村用水工事の
ため令和3年11月から取水
できない状況であった。

質問 2度の大きな火災の
経験を活かし、農閑期や江
ざらい、工事の時などの緊
急時に水を確保するため、
行政や自治会等が連携し、
連絡網を新たに作成して運
営していくべきではないか。

総務部長 緊急時の水門管
理体制は現在も水管理
者をはじめ、土地改良区、自
治会等と連携を取り、スム
ーズな通水に努めているが、
これを強化し、迅速に情報
伝達することが重要である
と考えており、さらなる連
携強化に努めていきたい。

質問 宅地と農地をセット
で取得するには農業委員会
の許可が必要で、かつ、農
業に従事している方でない
と取得できない状況である
しかしながら、農地法の改
正により農地を取得するた
めの下限面積を引き下げる
ことによりセットの購入が
可能となるので、そのこと
に対する本市の対応を問う。

産業建設部長 現段階では農地
取得に関する下限面積要件
は廃止されておらず、基準
に沿った判断にて「別段の
面積」設定には至っていな
いが、他市や県外からの新
規就農者や移住・定住促進
を図るための農地取得につ
いても農業委員会として検
討していく必要があると判
断している。改正法施工前
に具体的な農地の下限面積
要件の引き下げの相談があ
れば速やかに農業委員会
で諮っていきたい。

質問 駅南商業施設入口は
雨天時に不便と感ずるので、
その対応について問う。

企画政策部長 商業施設に
お越しの際、店舗北側にお
いて駅南広場から店舗入口
にかけてアーケードを追加
整備していただいた。



農地の売買では、利用す
る場合に限らず、農地以外に利用す
る場合も許可や届出が必要です。

◎今後の小矢部市農業
◎地域の活性化



山室 秀隆 議員



▼動画配信中

質問 肥料原料は世界的な穀物相場の上昇を受けて需要が逼迫し、また、ロシアや中国等から原材料の輸出が停滞、円安原油高により農業資材が高騰しているの

で、その対策として鶏糞等を有効活用した循環型農業推進に対する補助金のさらなる上乘せについて問う。

産業建設部長 今後、地力や保肥力の向上に堆肥の需要が高まると予想されることから、収穫後の地力向上資材の散布時期までに支援策等について、いならば農協と協議していきたい。

質問 令和3年産米の備蓄米売却価格が供出米価格を上回っているが、原因と差額対策を問う。

産業建設部長 平成30年産の備蓄米を必要数量の約6割しか確保できなかったことで令和元年産米の備蓄米購入価格が上昇し、また、主食米の下落も重なり、令和2年産米から備蓄米価格が主食用米価格より高くなっている。今後の米価の動向を注視し、必要に応じて国・



地域の持続可能な性を高めるために一人ひとりが当事者意識をもって地域活性化に取り組みましょう。

県に要望することを含め本市の対策も検討したい。
質問 小矢部市自治会連合会から小矢部市自治振興会協議会への名称変更の目的と期待することを問う。
民生部長 「小矢部市自治会連合会」は市内18地区の自治会連合会の代表者で構成され、市との連絡調整等をされてきたが、自治会連合会とは別に各地区の振興を目的に自治振興会がほとんどの地区で組織されている状況を踏まえ、各地区を實質的に代表する自治振興会の代表者で構成する組織であることを明確にするため「小矢部市自治振興会協議会」に名称変更された。名称変更により、団体の目的でもある市内各地区の自治振興会相互の連携を図り、行政機関との連絡協力が密となり、地域の活性化と住民福祉の向上に寄与されることを期待している。

一般質問

- ◎消防団の活動について
- ◎行方不明者の捜索について
- ◎災害時の避難所運営について
- ◎コロナ禍において高齢者をとりまく生活について
- ◎園芸高校の農作物等の活用について
- ◎寿永荘解体について
- ◎市民ボランティア団体の維持継続について



嶋田 幸恵 議員



▼動画配信中

質問 消防団へのアンケート調査を踏まえて活動はどう変わったのか。

総務部長 消防団員の負担軽減を図るため、市操法大会は1年ごとに参加する輪番制へと変更になった。

質問 消防団の出動手当てについて問う。

総務部長 他市の状況も踏まえて、定例会は一回あたり5人との基準を設けたい。
質問 災害時の避難所運営について問う。

総務部長 災害発生時は、防災行政無線、市の広報車、防災緊急メール等により住民に対して伝達・周知をしている。避難所の開設・運営は担当の市職員が行う。

質問 介護認定を受けていない独り暮らし高齢者への対応について問う。

民生部長 令和4年6月現在、独り暮らしの高齢者は約千人と把握している。対応として、通報装置を利用した生活助言、通話録音装置の貸出、寝具消毒乾燥事業等を実施し、また、食事の調理が困難な方へ夕食を

提供する事業も行っている。
質問 小矢部園芸高校の農作物の販売について問う。

企画政策部長 昨年末に本庁舎ロビーにて販売し、多くの方から好評を得たことから、年3回アルビスいするぎ駅店において、園芸高校で栽培された農作物の販売を生徒が自ら販売する形で取り組むことになった。また、企業と連携して稲葉山頂付近の斜面への花の植栽も予定されている。

質問 寿永荘解体について問う。

市長 解体に係る費用は所有者の社会福祉協議会で試算される。支援すべきところはしっかりと支援したい。

質問 市民ボランティア団体の維持継続について問う。

企画政策部長 広報おやべ等を活用した各団体のPRと担い手募集等の支援が考えられる。丁寧に寄り添った対応を心がけ、有効な支援方法を導き出したい。



は公77は社員がなす。消防社員とします。

- ◎公共施設Wi-Fi環境整備、DX化について
- ◎市制60周年記念事業について
- ◎スポーツ推進計画について
- ◎市の公園管理について



藤本 雅明 議員

【質問】 本年度導入するネットの内容と進め方を問う。
企画政策部長 結ネットは、平常時は地域の電子回覧板として、災害時は安否確認システムとして活用できるアプリである。自治会活動の負担軽減と地域コミュニケーションの向上を図るため、本年度、自治振興会協議会へ先行導入し、広報おやべ等のデータ送信、役員会等の案内送付・出欠回答などを行うこととしている。

【質問】 ICT教育の現状と今後の進め方、コロナ禍での活用事例について問う。
教育長 令和3年度はICT教育に必要な機器の整備を進め、タブレットや電子黒板を利用した学習や活動に慣れることを目標としていた。本年度は、おやべICTキャリアパスポートを用いた情報活用能力の育成を目指し、操作技能や情報モラルだけでなく、たくさんさんの情報の中から必要な情報を取捨選択し、適正に扱える力が身につくように指導を進めている。また、



城山公園

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、小中学校で学級閉鎖を実施した際には、タブレットを活用した家庭でのオンライン授業、オンライン学習を実施した。

【質問】 市長の考える、城山公園の位置づけ、今後の管理について問う。
市長 城山公園は、一年を通して木々が美しく、眺望にも恵まれた大変すぐれた景観を持つ、小矢部市にとっては大切な公園である。桜の名所にも選定されているので、これからも適切な管理を行い、風光明媚な桜の名所として、市民だけでなく市外からも訪れていただけの公園にしていきたい。また、桜の状態がよくないので、しっかりと現場を把握し、今後は計画的に桜の整備をしていきたい。

- ◎浅地大火について
- ◎学校の働き方改革について
- ◎国道359号線の抜本的改修について



石田 義弘 議員

【質問】 3月26日に浅地地内で発生した火災では小矢部大火の教訓や防災訓練の成果は十分に活かされたのか。
総務部長 平成3年の小矢部大火時は稲刈り時期のため通水されておらず、水利不足となり消火活動に支障をきたした。その教訓を活かし、今回は早期に用水管理業者等へ連絡をとり、他経路の通水により水利の確保に努めた。また、毎年、防火水槽等の水利から水を送る中継送水訓練を継続実施しており、今回の火災時には日頃の訓練の成果が十分に発揮されたと考えている。

【質問】 消火活動時の水不足の対応について問う。
総務部長 散水車やミキサ車等による補給体制の有効活用も全国で実施されているので、今後、関係団体と具体的な協議を進めたい。

【質問】 社会人男子ホッケーチームの小矢部RED OXを中心今年度新たに組織されたRED OX OYABE HOCKEY CLUBへの支援について問う。



RED OX OYABE HOCKEY CLUBは全世代総合型ホッケークラブで、ホッケー競技の普及拡大やジュニア層の強化・育成等に取組みられています。

【質問】 今後進むであろう中学校部活動の地域移行にも協力して取り組んでいくと期待しており、新しいクラブの活動の際には、情報提供や関係団体との連携等についてもできる限り支援をしていきたい。

【質問】 国道359号線は路面の損傷が激しく、車が通るたびに大きな音や振動がして近隣住民が非常に困っている。国道359号の抜本的な道路改修を早急に実施するよう強く要望する。
市長 修繕等の要望は具体的な箇所を確認し、道路管理者である県に相談等をしている。騒音や振動などの現状把握については、沿線の自治振興会の要望等からのご相談などにより聞き及んでいるので、今後も状況の改善を県へ強く働きかけていきたい。

- ◎職員の働き方、ワークエンゲージメントについて
- ◎ワクチン接種について
- ◎不妊治療費の保険適用について
- ◎北陸新幹線石動駅について



中田 正樹 議員



▼動画配信中

【質問】 国が本気で女性活躍社会の実現に取り組むのであれば、女性管理職の登用率に応じた地方交付税の加算措置等が必要ではないか。

【総務部長】 職員における女性管理職の登用率が、市全域における行政経費に直結するとは言い難いので、地方交付税として加算措置を求めることは非常に難しい。

【質問】 昇進を望まない女性職員も一定数いるが、ロールモデルとなる人材がいないことが、登用が進まない原因のひとつではないか。

【総務部長】 適材適所で配置された女性がロールモデルとなり、あなりたいと考えた職員が切磋琢磨する姿が、理想の姿である。

【質問】 感染拡大防止から重症化防止へという国の方針の変化は理解できるが、医療従事者等が接種対象でないことには違和感を覚える。

【市長】 県内の市長会、町村長会は総意の下、知事会での国への要望をお願いした。ボールを国に投げたが、まだ返ってこない現状である。

【質問】 コロナ感染症の2類から5類への変更について市としての見解を問う。

【市長】 2類では様々な制約を求められるが、検査や治療費などは国が全額負担する。5類では制約は減るが費用は全額自己負担となる。分類は、国において慎重に検討されていると考える。

【質問】 インフルエンザが2シーズン流行しなかった。抗体値減少によるコロナとの同時流行が懸念される。

【市長】 インフルエンザが流行しなかった点には注意が必要であり、そういうデータも参考に医師会と協議し、コロナとの同時流行に備え、必要な措置を講じていく。

【質問】 不妊治療費の保険適用後も県や市の不妊治療費助成事業は継続されるのか。

【民生部長】 引き続き保険診療費や保険診療適用外の検査費及び診療費にかかる自己負担額に対して助成する。



国際的「2020年以降」の進め方として「可能な限り30%程度」の目標を設定しています。職員の早期に目標を設定し、管理職の早期に目標を設定し、

- ◎ゼロカーボンシティを目指して
- ◎クロスランドおやべの施設運営について
- ◎稲葉山牧場について



加藤 幸雄 議員



▼動画配信中

【質問】 ゼロカーボンシティについて、目標値と策定状況及び施設ごとの温室効果ガス排出量を問う。

【民生部長】 再生可能エネルギーの導入目標を令和4年9月までに策定するため、現在、その策定事業に取り組んでいる。その中では、2030年度までに温室効果ガス排出量の46%削減を目指すことを検討している。また、令和2年度において温室効果ガス排出量の多い順にクロスランドおやべが395トン、市総合保健福祉センター295トン、市庁舎292トンとなっている。

【質問】 温室効果ガスの削減方法について問う。

【民生部長】 徹底した省エネ対策や化石燃料から再生可能エネルギーへのエネルギー転換等が考えられる。

【質問】 本市における自然エネルギーや再生可能エネルギーの活用について問う。

【民生部長】 現在、再生可能エネルギー発電設備の設置に適した用地調査を実施している。また、北陸電力等



クロスランドサマーフェスティバル 盆踊り

と脱炭素社会実現に向けた相互協力をしていくこととしている。

【質問】 クロスランドおやべの利用状況について問う。

【教育委員会事務局長】 施設利用人数は令和2年度7万6千879人、令和3年度8万4千145人である。今年度の2か月間は前年度比1万4千185人増である。今年度はコロナ禍で中止していたホールイベントの再開や盆踊り&花火大会の開催などを計画している。

【質問】 稲葉山牧場の利用状況と施設運営管理について問う。

【産業建設部長】 コロナ禍により入場者数が減少していたが、今年度のゴールデンウィーク期間は前年度比57.1%増となった。動物ふれあい体験は感染対策をして再開している。また、Wi-Fi環境整備については設置に向けて検討していく。

- ◎給食費の無償化をめざし、物価高騰から保護者負担軽減の支援を
- ◎学校統廃合の断念を
- ◎水道料の基本水量引き下げ



▼動画配信中



質問 物価高騰による食材費の値上げを保護者負担とさせないこと。

市長 時機を見て他市町村と足並みを揃えていきたい。

質問 給食費は一人あたり月約5千円にもなるので、生活困窮者への恒久的支援も必要である。生活保護基準の1.5倍未満の世帯という就学援助対象者の認定基準を令和2年度に「1.2倍未満」へ引き下げたが、元に戻すべきである。そのため財源はどれだけか。

教育委員会事務局長 572万円が必要となる。健全な財政運営のため、対象者削減は総合計画前期実施計画の見直しで協議し決定した。

質問 給食費の無償化は憲法26条義務教育無償の一環である。国へ給食費の無償化を働きかけるとともに、市でせめて第2子以降の給食費を無料にしてはどうか。

教育委員会事務局長 第2子以降の無償化は現段階では難しい。給食費の無償化は国が検討すべきことである。

質問 分散登校や少人数学

習等により不登校児童生徒数が減少するなど少人数学級のすばらしさを体験する前に作られた市小中学校統廃合審議会の答申を絶対視することはできない。学校統廃合計画は断念すること。

教育長 この答申のままに市長が決定するものではない。答申の趣旨を十分に尊重した上で、コロナ禍のい

ろんな経験などを加味した上で決定していく。

質問 スタディメイトで多人数学級支援講師のような担任の補助ができるのか。30人学級実現までは担任の負担軽減措置を求めたい。

教育長 教材準備などは原則できないが、担任の負担軽減につながる支援を依頼している。

質問 水道基本水量の引き下げを求める。

産業建設部長 今回の使用料3円の影響等を見極め、慎重に検討したい。



現在、小矢部の基本水量は10立方メートルです。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

民生文教常任委員会

一点目は、新型コロナウイルス感染症に関する対策について、生活困窮者や低所得の子育て世帯への給付金は、速やかに給付を実施すること。また、未だに感染者が市内で確認されていることから、改めて適切な感染症対策を周知徹底するとともに、特に児童・生徒、高齢者に対しては、マスク着用による熱中症の発症リスクが高まることがないように留意すること。

二点目は、物価の高騰に関する対応について、小中学校、こども園・保育園の給食費における食材費等の高騰が保護者の負担増につながるようにならないように、必要な財政措置を速やかに講じること。三点目は、地域の公共交通について、各地域の実態に沿った公共交通体系が実現できるように、先進地事例等を参考にし、具体的な検討を鋭意進めると。また、民間の交通事業者や近隣市など幅広い関係者との協議の場を設けることで、市民の利便性が高い公共交通を目指すこと。

総務産業建設常任委員会

一点目は、防災について、火災や地震、気候変動の影響による自然災害などから市民の命と暮らしを守るため、これまでの教訓を踏まえて、危機管理体制をしっかりと整えること。また、市民に対して、災害時にとるべき行動など実践的な防災知識について周知を図ること。

二点目は、上・下水道事業について、人口減少や施設・管路の老朽化等に伴い、今後ますます経営環境が厳しさを増していく中、持続的に安定した経営を確保するため、事業の広域化の検討も含めた経営基盤の強化を図り、さらなる経営の健全化・効率化に努めること。

三点目は、デジタル化の推進について、市職員の資質向上により仕事の生産性を高めるため、研修体制を充実・強化し、デジタル人材の育成に努めるとともに、職員一人ひとりがDXに取り組むよう意識改革を図ること。また、デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの普及を促進し、業務の効率化と市民の利便性向上のため、行政手続きのオンライン化やコンビニ交付サービス等の導入などについて、市民への周知を図り、普及に努めること。

公共施設再編特別委員会

(最終報告)

一点目は、小中学校統廃合について、コロナ禍が続き、統廃合について市民から意見を聞く機会が延期されておりましたが、新型コロナウイルスの脅威も落ち着いてきていることから、速やかに学校再編の議論を深め統廃合を進めること。

二点目は、クロスランドおやべの施設においてホール側の機能集約やクロスランドタワー内の博物館の廃止の方向性を早急に示すこと。また、クロスランドおやべ周辺施設の機能集約については複数のシミュレーションを行い、メリットやデメリットを提示し、市全体の事業を考慮した上で計画を策定すること。

三点目は、用途廃止をした旧保育施設を含む市有財産処分計画については、一部の処分において、売却済みや一般公募も始まっているが、譲渡や取り壊しなどの完了期限が決まっている施設が数多くあることから、引き続きスピード感を持って対処すること。
四点目は、かねてより懸案となっていた新学校給食センター整備については、整備基本構想の概要を早期に示し、安全安心な給食を提供するために、整備を進めること。

地域活性化特別委員会

(最終報告)

一点目は、シティプロモーションについて、昨年度は、山手線つり革広告事業やテレワーク推進事業を実施して本市の魅力度・認知度を向上させる取り組みを実施されたが、その結果である成果や反省点などを生かし、継続して実施することが肝要であり、移住・定住の促進及び関係人口の創出を図ること。

二点目は、現在、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えていませんが、イベントや祭りが少しずつ復活するなど、明るい兆しも見えてきており、地域活性化のための事業やイベントを行う際には、市民、市商工会や市観光協会などの関係団体や関係企業等と連携して事業に取り組むこと。

三点目は、地域活性化の課題は、道路網の整備や石動駅北地区における企業誘致など多岐にわたることから、国や県の地方創生制度等を有効に活用し、各種施策に積極的に取り組むとともに、郷土を愛する市民一人ひとりの地域活性化への意識の醸成を図ること。

行政視察報告

民生文教常任委員会

【日程】 5月12日

【視察先】 富山県朝日町

【委員名】 山室秀隆 林 登

中田正樹 福島正力

白井 中 藤本雅明

吉田康弘 谷口 巧

●公共交通（ノックルあさひまち等）について

富山県朝日町では、大学と共同して実証実験を行い、住民にとって便利で分かりやすいコミュニケーションバス体系を構築され、利用者の増加につながっていました。また、住民の移動手段の選択肢を増やすことを目的に、マイカー乗り合い公共交通サービス「ノックルあさひまち」を運行されていました。住民に直接課題をヒアリングするなど公共交通の課題に対して、民間企業と綿密に連携し、共に解決方法を探る姿勢で取り組んでおられました。

総務産業建設常任委員会

【日程】 5月23日

【視察先】 石川県金沢市

【委員名】 加藤幸雄 竹松豊一

砂田喜昭 沼田信良

嶋田幸恵 石田義弘

義浦英昭 出合和仁

●デジタル化の推進について

金沢市では、「誰ひとり取り残さないデジタル戦略都市・金沢」を基本理念とする金沢市デジタル戦略に基づき、戦略的にデジタル化を推進しておられました。RPA・A-OCRの導入では、作業時間が大幅に削減されるなど大きな成果が出ていました。また、デジタル人材の育成にも力を入れておられました。デジタル化により、業務の生産性を向上させるとともに、行政手続きのオンライン化や窓口のキャッシュレス決済など、市民サービスの向上を図るため、積極的に取り組んでおられました。



RPA……ソフトウェアロボットによる業務自動化技術
AI-OCR……OCR(光学文字認識)という紙や画像ファイルに書かれている文字をデジタルデータに変換する技術にAI(人工知能)を取り入れたシステム

年月日	件名	摘要	開催地
4.3.30	県西部市議会議長会研修会	・意見交換	高岡市
4.5	議会だより編集委員会	・第205号発刊について	第二委員会室
4.19	全員協議会	・令和4年3月26日に発生した浅地地内での火災について他5件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・第205号発刊について	第二委員会室
4.21	北信越市議会議長会定期総会	・令和3年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・令和4年度事業計画及び予算	金沢市
4.25	砺波市・南砺市・小矢部市議会合同研修会	・市営バスの現状と課題について	市民交流プラザ
	県西部市議会議長会総会	・令和3年度事業報告及び収支決算報告 ・令和4年度事業計画、負担金及び予算	高岡市
5.9	地域活性化特別委員会	・人口増減の状況及び定住助成事業の実績について他2件報告	第一委員会室
	民生文教常任委員会	・令和3年度マイナンバーカード普及促進事業について報告	第一委員会室
5.11	公共施設再編特別委員会	・廃止施設の処分計画・取組状況について報告	第一委員会室
	総務産業建設常任委員会	・令和5年度採用職員の募集について他1件報告	第一委員会室
5.12	民生文教常任委員会行政視察	・公共交通（ノッカルあさひまち等）について	朝日町
5.20	全員協議会	・小矢部市におけるデジタル化の推進について他2件報告	第一委員会室
	NPO法人石動まっちゃんプロジェクトとの意見交換会	・中心市街地の活性化の課題について	市民交流プラザ
5.23	総務産業建設常任委員会行政視察	・デジタル化の推進について	金沢市
5.24	富山県選出国會議員と富山県市議會議長会との懇談会	・各市からの要望事項の要旨説明	東京都
5.25	全国市議会議長会定期総会	・令和2年度会計決算認定及び令和4年度会計予算について ・国等への要望について	東京都
5.26	全国市議會議員共済会代議員会	・専決処分について ・令和3年度会計決算について	東京都

■ 会務報告つづき

5.28	利賀ダム建設促進期成同盟会 通常総会	・ 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・ 令和4年度事業計画及び歳入歳出予算他2議案	砺波市
5.30	砺波地域消防組合議会臨時会	・ 砺波地域消防組合個人情報保護条例の一部改正につ て他3議案	砺波市
6.2	議会運営委員会	・ 令和4年6月定例会提出議案等について	第二委員会室
6.4	北陸新幹線新高岡駅「かがやき」 停車実現期成同盟会総会	・ 活動報告 ・ 新高岡駅の現状及び今後の活動方針について 決議文採択	高岡市

小矢部市議会では、より多くの皆さんに定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、YouTubeでの録画配信に加えて、令和4年6月からライブ配信（議会中継）を実施しています。小矢部市議会のYouTubeページからぜひご覧ください。



ライブ配信（議会中継）のお知らせ

令和4年度 議長交際費支出内訳表

令和4年4月～令和4年6月（単位：円）

区 分	件数	金 額	
1 慶弔・見舞費	7	86,775	
① 御祝・寸志	1	30,000	大会祝い金
② 激 励 金	2	11,000	全国大会出場激励金等
③ 見舞・香典	4	45,775	香典、生花等
2 協 賛 費	0	0	
3 会費・懇談会費	3	21,275	各種団体との会議、懇親会費等
4 そ の 他	7	31,450	訪問時・来客時記念品、お土産等
合 計	17	139,500	
令和4年度予算額		1,000,000	
執 行 率		13.95%	

※小矢部市議会のホームページからご覧いただけます。

9月定例会の日程（予定）

9日（金）10時 本会議（提案理由説明）

全員協議会

12日（月）

議案調査日

13日（火）

議案調査日

14日（水）

議案調査日

15日（木）

9時 議会運営委員会

10時 本会議（代表・一般質問）

16日（金）

10時 本会議（一般質問）

20日（火）

10時 特別委員会

21日（水）

14時 民生文教常任委員会

22日（木）

14時 総務産業建設常任委員会

26日（月）

10時 決算特別委員会

26日（月）

10時 議会運営委員会

26日（月）

13時 全員協議会

26日（月）

15時 本会議（質疑・討論・表決）

※緑色の文字はケーブルテレビ及びインターネットにて生放送を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。

編集後記

近頃の経済情勢はロシアによるウクライナ侵攻やコロナ禍の長期化等により原油・生産資材等の価格が高騰し、生産者、消費者ともに深刻な状況が続いております。早急な対策が求められています。市議会といたしまして、引き続き市民の皆様の声を市政に反映させるよう全力を尽くして取り組み、地域の活性化と市民の皆様が住みやすさを実感していただけるまちづくりを推進していく所存であります。

また、第15期目の小矢部市議会議員の任期も、9月1日をもって満了しようとしております。任期中、市民の皆様には格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今後とも、皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

（議会だより編集委員 石田記）

次回の「議会だより」は、令和4年11月の予定です。

